

/// 兵庫医科大学病院のチーム医療 ///

所属部署の
垣根を越えた

18の医療チームが さまざまな活動をしています



チーム医療とは、高い専門性を持つ多種多様な医療スタッフが互いに連携し合って医療を提供すること。兵庫医科大学病院には、専門職種のメンバーが所属部署を越えて集まる18のチームがあります。患者さんの状況に合わせて活動するこれらのチームを、6回にわたりご紹介します(第4回)。

手術医療を多職種連携で支える **周術期管理チーム**

手術を受ける患者さんの術前から術後までの周術期について、多職種で連携し、より質の高い管理を目指して活動するチームです。手術前の超ハイリスク症例カンファレンス、口腔機能管理、術後疼痛(どうつう)管理チームの活動などに取り組みながら、各部署と連携し、安全・安心な手術の実施、術後の早期回復、合併症の減少などを目指しています。

【構成メンバー】医師、歯科医師、看護師、薬剤師、臨床工学技士、理学療法士、事務員 等



認知症の患者さんやご家族に寄り添う **認知症ケアチーム**

認知機能は、年齢を重ねるにつれ徐々に低下していくもの。認知機能が低下した状態であっても、安心して治療を受けられるようにサポートすることを目的としたチームです。病棟スタッフ、ほかのメディカルスタッフと協力しながら、認知症の方や認知機能が低下した方にも優しい病院づくりを目指しています。

【構成メンバー】医師(脳神経内科、精神科神経科)、看護師、精神保健福祉士

排尿自立により早期の退院を支援 **排尿ケアチーム**

尿道カテーテル抜去後の尿閉、排尿困難、尿失禁のある入院患者さんのために活動しているチームです。週1回のカンファレンス・ラウンドの中で、院内各病棟の看護スタッフと協力して自排尿または間欠導尿により自立した排尿状況を達成し、早期退院につなげるようにしています。

【構成メンバー】医師、看護師、理学療法士、作業療法士



兵庫医科大学病院では、ここで紹介する18チームの活動以外にもチーム医療をますます推進し、患者さんご家族のQOL(生活の質)を高める、安心・安全な医療を提供してまいります。